

動物実験に関する現況調査票

関西医療大学

平成 29 年度

平成 31 年 2 月

4. 年度ごとの動物実験に関する教育訓練の受講者数

教育訓練受講者数	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	5 人	3 人	15 人	0 人	12 人

5. 実験動物飼養保管施設の現況

施設の名称	管理者 の職・氏名	実験動物管理者の職・氏 名(関連資格・経験年数)	動物種	最大飼養頭数 (概数)
動物実験セン ター	教授・榎葉均	教授・榎葉均 (医学博士、経験年数： 動物実験を始めて 30 年)	マウス ラット ウシガエル	120 60 3

6. 特記事項

(動物実験に関連した、機関の特徴や特殊事情)

関西医療大学・動物実験センターの特殊事情

本学における動物飼養施設は動物実験センター、1施設のみである。ここ数年、動物実験計画数は数件程度で、使用する年間の動物数も約 300～1000 匹である。これまで、実験動物の搬入、飼養、保管に関しては、それぞれの動物実験責任者及び実験実施者が責任を持って行うこととし、動物実験センターの管理・維持等についても、動物実験責任者及び実施者と動物実験センター長及び動物実験委員会がお互いに協調しながら良好な運営に努めている。

本来、「ウシガエル」は実験動物に含まれないが、環境省が指定するところの「特定外来生物」でもあるので、本学動物実験委員会では「ウシガエル」についても他の実験動物と同様に取り扱っている。